

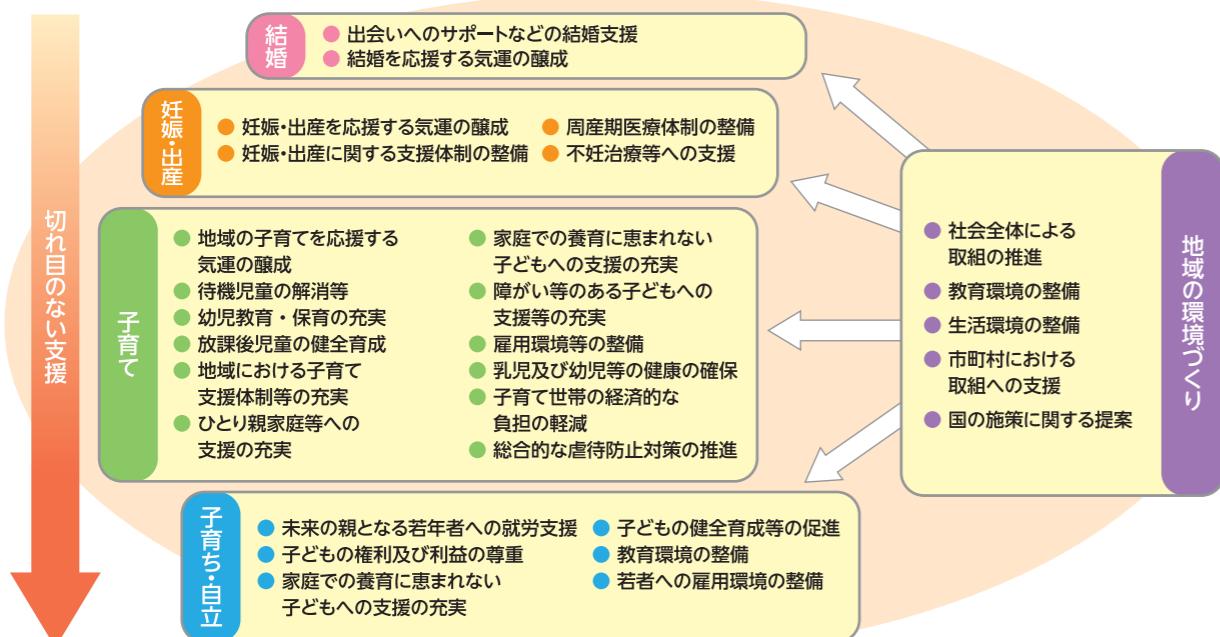
2 北海道の少子化対策

北海道の未来を担う子どもたちがのびのびと心豊かに成長することは、道民すべての願いです。

少子化が進行する中、道民みんなで子どもと親を支えるために、北海道では、豊かな自然環境などの地域特性を十分に生かしながら、「安心して子どもを生み育てることができる環境づくり」や「子どもが健やかに成長できる環境づくり」を進めています。

こうした環境を実現するためには、結婚・妊娠・出産・子育てのそれぞれのライフステージにいる方の不安や障壁を取り除くことや、それぞれのニーズに応じたきめ細やかな支援が必要です。道では、平成16年10月に制定した「北海道子どもの未来づくりのための少子化対策推進条例」に基づき、「結婚」「妊娠・出産」「子育て」「子育ち・自立」の4つのライフステージとそれを支える「地域の環境づくり」の5つのステージを設定し、官民一体となった取組によって、結婚・妊娠・出産・子育てや子どもの成長を応援する気運の醸成を図りながら、ライフステージごとに切れ目のない支援を総合的かつ計画的に実施しています。

第三期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」(平成27年度～平成31年度)



北海道が進める少子化対策には、高校生のみなさんをはじめ、青少年に向けた取組がたくさんあります。

家庭、学校、地域などが行う取組を通して、みなさんが大切なことを発見したり、悩みごとを解決したりしながら、大人へと成長していくためのサポートをしています。また、近い将来、社会へはばたき、結婚や子どもを持つことを考える日が来たときに、夢や希望をもって人生の選択ができるよう、みなさんの未来を応援しています。

あなたの「今」をサポート

一緒に身につけよう！健康の正しい知識＜思春期のピアカウンセリング＞

同年代の仲間と対等な立場で話し合いながら、健康についての正しい知識を身につけ、問題が起きた時や起こさないようにどう対処するかなど、主体的に考える力を育むことを目的に実施しています。

愛やいのちはとても大切！＜性に対する正しい知識教育の推進＞

北海道は10代の人工妊娠中絶が全国2位（平成25年衛生行政報告例）という深刻な状況のため、性に対する正しい知識の習得やいのちの大切さなどについて学ぶ授業を実施しています。

喫煙・薬物は絶対にダメ！＜喫煙・薬物乱用防止の取組＞

喫煙や薬物に関するさまざまな情報があふれる中、身体に与える影響などについて正しい知識を伝えるとともに、相談窓口などを充実させています。

地域の大人たちは、頼れる存在＜地域のせわざき・せわやき隊＞

地域の大人たちが「せわざき・せわやき隊」を結成し、子どもたちの健やかな成長を見守り、支えています。

あなたの「未来」をサポート

若者の就職をバックアップ！＜若者の就職支援＞

若い世代の失業者やフリーターの増加を受け、若者が自立して家庭をしっかりと築けるよう、「北海道若年者就職支援センター（ジョブカフェ北海道）」などで総合的な就職支援を進めています。

赤ちゃんとママに安心の医療体制＜母子保健医療体制の充実＞

妊娠婦や乳幼児の健康診査の充実など、赤ちゃんのいるお母さんがいつも安心して保健医療サービスを受けられるよう、市町村や医療機関が連携して母子保健医療体制を整えています。

人生の先輩が子育てを支援！＜高齢者や子育て経験者の人材活用＞

核家族化や近所づきあいなどが少くなり、子育て家庭の育児不安が高まっていることから、高齢者や子育て経験者が活躍する地域ぐるみの子育て支援体制を整えています。

育児と仕事が両立できるように＜雇用環境の整備・保育サービスの充実＞

育児・介護休業法などに対する企業の意識を高めたり、延長保育や夜間保育などの保育サービスの充実を図りながら、子育て家庭が育児と仕事を両立できる環境づくりを進めています。

子どもたちからの政策提言

北海道では、本道の少子化対策の推進について、子どもの視点から審議を行うため、知事の諮問機関である「北海道子どもの未来づくり審議会」に「子ども部会」を設置し、子どもが自らの意見を表明する機会の確保や、その意見が適切に社会に反映される環境づくりを進めています。

この子ども部会は、道内各地の中学生及び高校生17名が子ども部会委員として、8月と12月の2回にわたって本道の少子化的現状や課題、解決策について話し合いを行うもので、平成17年度から毎年度開催しています。

平成27年度は、「私たちがつくる北海道の未来」をテーマに、本道の少子化や人口減少の現状・課題、解決策などについて話し合い、将来、自分たちが親となり、子育てしやすい環境をつくるためには何が必要か、普段の学校・家庭生活や身近に起きていく出来事などから同年代と意見を交わしました。

子どもたちが議論を重ね、今後の北海道の少子化対策に必要と考えられた意見については提言としてまとめられ、高橋知事に提言書を提出しています。

これまで子ども部会からはたくさんの提案があり、道の施策に反映されてきました。例えば、おむつ交換や授乳ができる施設を「赤ちゃんのほっとステーション」として広くお知らせすることや、結婚を希望する方への「結婚を応援するイベントの開催」などが実際に取り組まれています。

道では、こうした子ども部会の開催などを通して、未来をつくる若い世代の視点を大切に、今後の政策に生かしていくよう努めています。



理解しよう！考えてみよう！

あなたが暮らすまちの魅力はどのようなところですか。ホームページなどを活用して、地域の特色やまちづくりの取組について調べてみましょう。

広大な北海道では、各地域によって環境が異なるため、それぞれの地域に暮らし、将来を担うみなさんが、自分のまちの魅力や課題への理解を深め、まちの将来について考えていくことが重要です。

